

御所見通信

2018年12月21日

冬休み号

藤沢市立御所見小学校

校長 三橋 雅幸

家族の一員として

明日から冬休みです。今年はカレンダーの関係で、終業式が例年（12/24）よりも早いので、17日間とちょっと長めの冬休みとなります。冬休みは一年で一番忙しい年末と、のんびり過ごせるお正月がある休みです。年末年始は休みの会社や工場・商店が多いので、家族そろって過ごす時間をとれる家庭も多いのではないかと思います。

家族で過ごすことの多い冬休みだからこそ、子どもたちには、家族の一員として自分のできることを見つけて、取り組んで欲しいと思います。各家庭の事情は様々ですが、1年生は1年生なりに、6年生は6年生なりにできる家族の仕事はたくさんあります。特に年末は、どの家も大掃除や新年の準備で忙しいので、普段は取り組むことの少ない仕事にも挑戦してもらいたいと思います。

以前、1年生を担当したとき、生活科で“お手伝い大作戦”を展開しました。子どもたちが普段やっていない手伝いに、1週間家庭で取り組んでももらいました。教室で報告会のあと、家の人からの手紙（評価）をもらうというものでした。短い期間ですが、毎日続けることで、どの子も家事の大変さや分担の大切さを知るとともに、家族の一員として自分が役に立っていることを喜んでいました。自己有用感を高めることにもつながったと考えています。

年末の大掃除の手伝いだけでなく、お正月の過ごし方も家族の一員を実感する良い機会かと思えます。家族そろってのんびり過ごすのも、どこかへ出かけるのも良いでしょう。また、帰省などで、顔を合わせることの少ない親戚と、お正月を一緒に過ごすこともあると思います。家族を意識すると共に、年齢に応じたあいさつや立ち居振る舞いを学ぶ良い機会だと思います。

家族の一員であることを自覚する機会が多い冬休みだからこそ、家族の中で自分のできることを考える良い機会ではないでしょうか。



すっかり葉が落ちた校庭のいちよう